

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	1	所属	健康推進課	所属長	斉藤綾子
事業名	1000169	母子保健事業		記入日	平成24年11月21日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	健やかな生活づくり			
	中項目	健康・保健			
	小項目(施策)	保健師活動の充実			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	母子保健法、児童福祉法、学校保健安全法、境町妊婦健康審査及び乳児健康審査実施要綱				
事業概要	母性並びに乳児及び幼児の健康の保持に努めるため、妊産婦や乳幼児の定期的な各種健診事業を推進。また、訪問活動や相談事業を推進し、母性保護の尊重と育児支援及び育児知識の理解啓発を進めている。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	妊産婦及び乳幼児に対する健康保持
意図 (何を目指しているのか)	妊娠・出産という一大事業に伴う母性の保護並びに正しい理解への知識啓発。その後の母性の自立・保護並びに乳幼児の健やかな成長を目指す。
手段 (どのようなやり方で)	安心な出産・育児を迎えるための支援として、母子健康手帳の交付、妊婦健診費用の助成、乳幼児の法定健診及び上乗せ健診等の実施により健康増進を図る。また、母性の不安解消や成長不安のある乳幼児への訪問指導、助言を進めている。
成果 (どのような成果を得るために)	母性の保護並びに乳幼児の健やかな成長発達

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	27,068	26,829	20,929	27,734
従事職員数	人				
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	27,068	26,829	20,929	27,734

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度 実績	23年度		24年度		
			計画	実績	計画		
対象指標	指標1	妊婦健康診査受診票交付数	人	3259	2920	2920	3200
	指標2	乳幼児	人	885	900	871	900
	指標3	相談及び家庭訪問(実人数)	人	656	500	736	500
活動指標	指標1	妊婦健康診査受診者数	人	2629	2482	2471	2720
	指標2	各種健診人員(乳～3)	人	811	855	800	855
	指標3	相談及び訪問件数(延べ件数)	件	734	1000	858	1000
成果指標	指標1	妊婦健康診査受診率	%	80.6	85	84.6	85
	指標2	各種健診受診率	%	91.6	95	91.8	95
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況	少子時代、核家族の背景の下、母性の不安を訴えるケースは多い。また、若年出産や経済不安の中の妊娠も表面化し、医療機関未受診問題等の周産期医療としてもリスクが高まっている。	
これまでの見直しや 改善等の経過	今期間中の見直し点は、特段なし。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等] 少子時代をむかえ、また、育児不安が高まる社会環境において、母子保健における中心的な担い手は保健師であるものの、他事業の推進も併せ持つため、昨今の母子保健上の複雑多岐にわたる課題の支援が手薄な状況にあり住民との関係性が弱いと考えている。よって、期待に応えられる保健師活動を行うためにも人材拡充は急務と考える。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	2	所属	健康推進課	所属長	斉藤綾子
事業名	1000881	子宮頸がんワクチン予防接種助成事業	記入日	平成24年11月21日	
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	健やかな生活づくり			
	中項目	健康・保健			
	小項目(施策)	感染症防止対策の推進			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	予防接種法、ワクチン接種緊急促進事業実施要領、境町子宮がん予防接種費の助成に関する要綱、境町集団接種による子宮頸がん予防接種の実施に関する要綱、境町ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種事業要綱				
事業概要	予防接種法に規定する定期予防接種対象外に対し、行政措置として実施する子宮頸がん予防接種を受ける者への負担軽減を図るため、予防接種に要する費用の全額を助成する。並びに、ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種を受ける者に対しても費用助成を行い、受けやすい予防接種環境を整備する。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	中学校1年生及び2年生に相当する年令の女子においては、子宮頸がん予防接種を対象とする。ヒブ・小児用肺炎球菌ワクチン接種においては、生後2ヶ月から5歳到達前日までの乳幼児を対象。
意図 (何を目指しているのか)	HPV16,18型を主とする子宮頸がんの疾病罹患の予防およびインフルエンザ菌B型による髄膜炎等の感染症予防や肺炎球菌による感染症予防。
手段 (どのようなやり方で)	子宮頸がんにおいては、集団接種。ヒブ・小児用肺炎球菌においては、個別による施設受診で実施。
成果 (どのような成果を得るために)	子宮頸がん等の疾病罹患の撲滅

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	10,064	38,203	23,750	22,271
従事職員数	人				
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	10,064	38,203	23,750	22,271

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度 実績	23年度		24年度		
			計画	実績	計画		
対象指標	指標1	対象者数(子宮頸がん)	人	751	744	744	384
	指標2	対象者数(ヒブワクチン)	人		1013	1013	775
	指標3	対象者数(肺炎球菌)	人		1013	1013	899
活動指標	指標1	接種人員(子宮頸がん)	人	751	744	741	384
	指標2	接種人員(ヒブワクチン)	人		1013	608	775
	指標3	接種人員(肺炎球菌)	人		1013	687	899
成果指標	指標1	受診率	%	100	100	99.6	100
	指標2	受診率(延べ)	%		100	60	100
	指標3	受診率(延べ)	%		100	67.8	100

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況	子宮頸がん等の予防への理解が進んでおり、国において予防接種法による1類疾病として議論が進んでいる状況にある。	
これまでの見直しや 改善等の経過	子宮頸がんにおいては、ワクチンの製造多様化により接種ワクチンの統一を図る。現在も「ガーダシル」を採用しているが、重篤な副反応症状は現われていない。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
------------	---	--

[今後の方向性についての具体的な考え方等]

22年度より、関係機関の協力もあり子宮頸がんにおける集団接種実施率が極めて高いものの、今後、実施方法としては、任意から定期化への移行時において、定期的予防接種実施要領による集団接種における保護者同伴の取り扱いが県より示されており、集団から個別接種への検討見直しを要す状況にある。

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	3	所属	福祉課	所属長	中田勝昭
事業名	1000079	老人福祉事務事業		記入日	平成24年11月28日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	高齢者福祉			
	小項目(施策)	総合的な施策の推進			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等					
事業概要	社会福祉への理解と関心を深め、公共に奉仕する心情、相互扶助の精神の育成を図る。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	住民
意図 (何を目指しているのか)	地域を明るく住みよいものにするため。
手段 (どのようなやり方で)	必要に応じて各サークル(9サークル)により対応を行っている。
成果 (どのような成果を得るために)	人間関係の広がり。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	1,028	1,029	922	922
従事職員数	人				
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	1,028	1,029	922	922

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位		22年度	23年度		24年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	小学校 5校(1, 2年生)	回	55	55	55	55
	指標2	高齢者(独居等)	人	30	35	35	40
	指標3	高齢者	人	1,885	1,900	1,864	1,900
活動指標	指標1	朗読回数	回	55	55	55	55
	指標2	弁当調理	食	1,398	1,500	1,599	1,880
	指標3	介護予防体操	人	1,885	1,900	1,864	1,900
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		<input type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input checked="" type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input checked="" type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]  平成25年度から境町社会福祉協議会に境町ボランティアセンターを設置予定。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	4	所属	福祉課	所属長	中田勝昭
事業名	1000800	敬老祝金事業		記入日	平成24年11月28日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	高齢者福祉			
	小項目(施策)	生きがい対策の充実			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	境町長寿をたたえる事業実施要綱				
事業概要	多年にわたり社会に尽くした高齢者を敬い境町居住の高齢者に対し、敬意・報恩・感謝を表すために行う。(85歳以上の年齢の方に3,000円を支給。)				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	境町に在住、85歳以上の方。
意図 (何を目指しているのか)	境町に居住する高齢者に対してその長寿を祝福するため。
手段 (どのようなやり方で)	各行政区の民生委員さんの協力を得て。
成果 (どのような成果を得るために)	敬老祝金を支給し町民の方にも敬老への関心と理解を深めていただく。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	2,841	3,000	2,760	3,015
従事職員数	人				
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	2,841	3,000	2,760	3,015

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度 実績	23年度		24年度		
			計画	実績	計画		
対象指標	指標1	85歳以上の高齢者	人	947	920	920	849
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	老人クラブ	団体	38			
	指標2	民生委員	人		44	44	44
	指標3						
成果指標	指標1	支給者	人	947	920	920	837
	指標2						
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況	高齢者の増加が加速する中、事業費の増額が見込まれる。	
これまでの見直しや 改善等の経過	8月1日基準で中質を掛けて人数の把握を行っていましたが、H24年度から死亡、住所等の移動があった場合は資格喪失者扱いとして支給を行わない。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等] 祝い金の贈呈に対して、22年度までは各老人クラブ、23年度から民生委員さんの協力を得て行っています。今のところ問題もなく、又、今後についても民生委員さんの協力を得ながら事業を進めて参ります。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	5	所属	福祉課	所属長	中田勝昭
事業名	1000787	福祉タクシー利用助成事業		記入日	平成24年11月28日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	高齢者福祉			
	小項目(施策)	介護予防・生活支援対策の充実			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	境町福祉タクシー利用助成制度要綱				
事業概要	医療機関への通院若しくは機能回復訓練機関への通所のために利用したタクシー料金の一部を助成することにより、日常生活の便宜を図り、その福祉の増進に資する。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	助成を受けることができる者は、境町に住所を有し、年齢70歳以上で、本人若しくは家族の者が自動車税等の減免を受けていない者。
意図 (何を目指しているのか)	日常生活の便宜を図る。
手段 (どのようなやり方で)	1か月分のタクシー利用券兼助成申請書及び請求書を提出。
成果 (どのような成果を得るために)	本制度を利用することによって経済的な負担を軽くする。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	1,152	1,152	687	1,152
従事職員数	人				
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	1,152	1,152	687	1,152

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分		単位	22年度	23年度		24年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	申請件数	件	158	160	166	170
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	パンフレットによるPR	世帯				8,000
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	申請者の増	件	158	160	166	170
	指標2						
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況	70歳以上の高齢者に対し負担を軽くし、社会生活の向上を図れる。	
これまでの見直しや改善等の経過	従来のとおり。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]  今後、買い物等でも使用できる様にし、社会活動の参加をしやすくする。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	6	所属	福祉課	所属長	中田勝昭
事業名	1000783	高齢者住宅等安心確保事業		記入日	平成24年11月28日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	高齢者福祉			
	小項目(施策)	介護予防・生活支援対策の充実			
区分	<input type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	境町高齢者住宅生活援助員派遣実施要項				
事業概要	ファミリー境から生活援助員を派遣し安否の確認、生活指導及び相談、緊急時の対応、その他日常生活上必要な援助を行っています。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	高齢者世帯。
意図 (何を目指しているのか)	高齢者の居住の安定と福祉の向上を図る。
手段 (どのようなやり方で)	定期的な巡回等。
成果 (どのような成果を得るために)	高齢者住宅の入居者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるように。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	3,510	3,510	3,501	3,510
従事職員数	人				
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	3,510	3,510	3,501	3,510

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度 実績	23年度		24年度		
			計画	実績	計画		
対象指標	指標1	高齢者世帯	世帯	11	11	11	11
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	見守り実施	年/回	4,475	4,500	4,913	4,920
	指標2	来所	年/回	231	235	228	230
	指標3						
成果指標	指標1						
	指標2						
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) ○ 必要である ○ あまり必要でない ○ ほぼ必要である ○ 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) ○ 妥当である ○ あまり妥当でない ○ ほぼ妥当である ○ 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) ○ 効率的である ○ やや効率性が低い ○ ほぼ効率的である ○ 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) ○ 達成されている ○ あまり達成されていない ○ ほぼ達成されている ○ 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況	高齢化社会を迎え、対象者の増加が見込まれる。	
これまでの見直しや 改善等の経過		
総合評価	<input type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]  更に高齢化が進むため、巡回の回数を増やして安全で快適な生活を確保する。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	7	所属	福祉課	所属長	野村美喜男
事業名	1000736	障害者自立支援事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	障害者福祉			
	小項目(施策)	福祉サービスの充実と基盤整備			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	障害者自立支援法				
事業概要	障害者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障害福祉サービス(介護給付・訓練等給付)費に係る支援を行い、障害者福祉の向上に努める				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	身体障害者 知的障害者 精神障害者 障害児
意図 (何を目指しているのか)	障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする
手段 (どのようなやり方で)	サービスの申請のあった利用者に対し、心身の状況に関する106項目のアセスメントを行う。介護給付を希望する場合は、医師の意見書をもとに二次判定(審査会)を行い障害程度区分1~6を決定する。訓練等給付を希望する場合は、暫定的な支給決定後、一定期間サービスを利用し本人の利用利用意思・適切なサービスかを確認し、本支給決定
成果 (どのような成果を得るために)	障害者が自立した生活、社会生活を営むことができるようにする

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	211,335	245,088	239,541	286,374
従事職員数	人	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費 ※	千円	14,000	14,000	14,000	14,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	225,335	259,088	253,541	300,374

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算



# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	8	所属	福祉課	所属長	野村美喜男
事業名	1000808	地域生活支援事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	障害者福祉			
	小項目(施策)	福祉サービスの充実と基盤整備			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	障害者自立支援法				
事業概要	障害者自立支援法に規定する事業であり、当町では、移動支援事業、日中一時支援事業、生活サポート事業、コミュニケーション支援事業、地域活動支援センター事業、身体障害者自動車運転免許取得・改造助成事業、障害者手帳等交付申請時診断書代助成事業、特定疾患医療助成事業、障害児(者)日常生活用具等給付事業を行っている。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	身体障害者 知的障害者 精神障害者 障害児
意図 (何を目指しているのか)	町を中心とした事業により、障害者及び障害児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるようにする
手段 (どのようなやり方で)	申請のあった利用者に対し、利用目的や介護者の状況を勘案し支給決定を行う
成果 (どのような成果を得るために)	障害者等がその有する能力や適正に応じた福祉サービスが受けられる

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	25,149	29,097	26,265	31,032
従事職員数	人	2.0	2.0	2.0	2.0
人件費 ※	千円	14,000	14,000	14,000	14,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	39,149	43,097	40,265	45,032

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分		単位	22年度	23年度		24年度
			実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1					
	指標2					
	指標3					
活動指標	指標1					
	指標2					
	指標3					
成果指標	指標1					
	指標2					
	指標3					

5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]  法定事業のため継続して行う	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	9	所属	福祉課	所属長	野村美喜男
事業名	1000159	児童手当事務事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	児童福祉			
	小項目(施策)	次世代育成支援対策行動計画の策定			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	児童手当法				
事業概要	父母その他の保護者が子育てについての第一義的責務を有するという基本的認識の下に、児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	児童手当の支給をする為の事務所要費。
意図 (何を目指しているのか)	
手段 (どのようなやり方で)	
成果 (どのような成果を得るために)	児童手当の支給の円滑化。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	1,034	397	322	0
従事職員数	人			2.0	2.0
人件費 ※	千円	0	0	14,000	14,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	1,034	397	14,322	14,000

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算



# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	10	所属	福祉課	所属長	野村美喜男
事業名	1000160	児童手当支給事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	児童福祉			
	小項目(施策)	次世代育成支援対策行動計画の策定			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	児童手当法				
事業概要	父母その他の保護者が子育てについての第一義的責務を有するという基本的認識の下に、児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	十五歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある児童の保護者。
意図 (何を目指しているのか)	児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。
手段 (どのようなやり方で)	手当の支給
成果 (どのような成果を得るために)	児童の居る家庭等における生活の安定に寄与する。次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	37,928	961	0	0
従事職員数	人				2.0
人件費 ※	千円	0	0	0	14,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	37,928	961	0	14,000

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

#### 4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1				
	指標2				
	指標3				
活動指標	指標1				
	指標2				
	指標3				
成果指標	指標1				
	指標2				
	指標3				

#### 5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		少子高齢化になり子育ての応援として、益々重要な位置にある。
これまでの見直しや改善等の経過		支給額、支給要件、支給年齢、支給に対する国県町の負担割合変更等が政治情勢で随時行われてきた。
総合評価		<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

#### 6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]  今後も子育て世代の応援として益々重要になってくるものと思われる。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	11	所属	福祉課	所属長	野村美喜男
事業名	1000873	子ども手当事務事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	児童福祉			
	小項目(施策)	次世代育成支援対策行動計画の策定			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	平成22年度等における子ども手当の支給に関する法律				
事業概要	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、子ども手当の支給に対する事務処理を行う。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	子ども手当の支給をする為の事務所要費。
意図 (何を目指しているのか)	
手段 (どのようなやり方で)	
成果 (どのような成果を得るために)	子ども手当の支給の円滑化。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	1,598	1,720	2,627	2,231
従事職員数	人			2.0	2.0
人件費 ※	千円	0	0	14,000	14,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	1,598	1,720	16,627	16,231

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

#### 4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1				
	指標2				
	指標3				
活動指標	指標1				
	指標2				
	指標3				
成果指標	指標1				
	指標2				
	指標3				

#### 5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

#### 6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 <input type="radio"/> 終期の設定 <input checked="" type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]	
国の子ども・子育て支援政策の基本なので、支給の名称等は政権により変わる事はあっても、今後も手当支給自体の廃止は無いものと思う。		

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	12	所属	福祉課	所属長	野村美喜男
事業名	1000874	子ども手当支給事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	児童福祉			
	小項目(施策)	次世代育成支援対策行動計画の策定			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	平成22年度等における子ども手当の支給に関する法律				
事業概要	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するために、子ども手当の支給に対する事務処理を行う。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	十五歳に達する日以後の最初の三月三十一日までの間にある児童の保護者。
意図 (何を目指しているのか)	児童を養育している者に児童手当を支給することにより、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的とする。
手段 (どのようなやり方で)	手当の支給
成果 (どのような成果を得るために)	児童の居る家庭等における生活の安定に寄与する。次代の社会を担う児童の健やかな成長に資する。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	463,451	608,009	518,180	489,601
従事職員数	人			2.0	2.0
人件費 ※	千円	0	0	14,000	14,000
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	463,451	608,009	532,180	503,601

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1				
	指標2				
	指標3				
活動指標	指標1				
	指標2				
	指標3				
成果指標	指標1				
	指標2				
	指標3				

5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]  国の子ども・子育て支援政策の基本なので、支給の名称等は政権により変わる事はあっても、今後も手当支給自体の廃止は無いものと思う。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	13	所属	福祉課	所属長	野村美喜男
事業名	1000139	新生児記念品給付事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	児童福祉			
	小項目(施策)	次世代育成支援対策行動計画の策定			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	なし				
事業概要	新生児の誕生にお祝いとして住民課窓口に出生届を出された方に対し体温計を差し上げる。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	新生児の親を対象。
意図 (何を目指しているのか)	子どもの体調管理に資するため。
手段 (どのようなやり方で)	体温計の支給。
成果 (どのような成果を得るために)	子どもの健やかな成長。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	326	326	326	326
従事職員数	人				
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	326	326	326	326

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算



# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	14	所属	おおぞら保育園	所属長	長谷川浩一
事業名	1000735	地域子育て支援拠点事業(センター型)		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	児童福祉			
	小項目(施策)	保育対策の充実			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等					
事業概要	地域の子育て支援情報の収集・提供に努め、子育て全般に関する専門的な支援を行う拠点として機能するとともに既存のネットワークや子育て支援活動を行う団体等と連携しながら地域に出向いた地域支援活動を実施する。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	子育て中の親と子
意図 (何を目指しているのか)	保護者の断続的な勤務、短時間の勤務等勤務形態の多様化、急病、育児疲れ等に伴う一時的保育の需要に対処するため
手段 (どのようなやり方で)	
成果 (どのような成果を得るために)	

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	6,852	6,859	6,716	6,766
従事職員数	人				
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	6,852	6,859	6,716	6,766

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算



# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	15	所属	福祉課	所属長	野村美喜男
事業名	793	境・五霞要保護児童対策事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	児童福祉			
	小項目(施策)	児童の健全育成			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	児童福祉法				
事業概要	児童虐待をはじめとする困難事例に対応する関係機関の円滑な連携及び必要な情報の共有化を推進し、要保護児童の適切な保護並びに要支援児童及び特定妊婦への適切な支援を図るために会議を開催。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	要保護児童並びに要支援児童及び特定妊婦。
意図 (何を目指しているのか)	情報の共有化、要保護児童の保護並びに要支援児童及び特定妊婦への適切な支援
手段 (どのようなやり方で)	情報の共有化を推進のため会議を開催。
成果 (どのような成果を得るために)	情報の共有化、要保護児童の保護並びに要支援児童及び特定妊婦への適切な支援

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	106	111	109	102
従事職員数	人				
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	106	111	109	102

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算



# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	16	所属	ひまわり保育園	所属長	染谷富士男
事業名	1090742	ひまわり保育園管理運営事業(地域活性化・繰越分)		記入日	平成24年12月10日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	児童福祉			
	小項目(施策)	児童の安全に配慮した環境づくり			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	(国補)地域活性化交付金(きめ細かな交付金)				
事業概要	円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策(平成22年10月に閣議決定)として、平成22年度補正予算として創設された「地域活性化交付金」により、経年劣化した園舎屋根の塗装工事事業を行う。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	園舎ガルバー屋根。
意図 (何を目指しているのか)	施設の維持管理、保育環境の充実。
手段 (どのようなやり方で)	経年劣化した屋根の塗装工事。
成果 (どのような成果を得るために)	工事を行うことにより、施設の延命と安心安全な保育環境の確保を図る。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	0	3,850	3,560	
従事職員数	人	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	0	3,850	3,560	0

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	園舎ガルバー屋根	m <sup>2</sup>		940	940	
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	屋根洗浄・塗装	m <sup>2</sup>		940	940	
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	屋根洗浄・塗装	m <sup>2</sup>		940	940	
	指標2						
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input checked="" type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	17	所属	福祉課	所属長	野村美喜男
事業名	1000654	児童扶養手当事務事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	ふれあいにみちた福祉づくり			
	中項目	母子・父子福祉			
	小項目(施策)	経済的支援の推進			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	なし				
事業概要	父または母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的に支給される手当の円滑な支払の為の事業。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	父または母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭を対象。
意図 (何を目指しているのか)	父または母と生計を同じくしていない児童が育成される家庭の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図ることを目的
手段 (どのようなやり方で)	手当の支給
成果 (どのような成果を得るために)	円滑な事務の遂行。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	97	87	266	82
従事職員数	人				
人件費 ※	千円	0	0	0	0
非常勤職員報酬	千円				
事業費合計	千円	97	87	266	82

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1				
	指標2				
	指標3				
活動指標	指標1				
	指標2				
	指標3				
成果指標	指標1				
	指標2				
	指標3				

5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		
これまでの見直しや改善等の経過		
総合評価		<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]  対象家庭の支援には欠かす事は出来ないし、今後も需用は増えるものとする。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	18	所属	保険課	所属長	大島孝夫
事業名	2000028	一般被保険者保険税還付金		記入日	平成24年11月30日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	安心して暮らせる仕組みづくり			
	中項目	国民健康保険			
	小項目(施策)	国保財政の健全化			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	境町国民健康保険税条例 地方税法第17条				
事業概要	過誤納に係る国保税の還付を行う。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	国保税過誤納付者
意図 (何を目指しているのか)	適正な納税額に更正する。
手段 (どのようなやり方で)	過誤納付された国保税額を納付者に還付する。
成果 (どのような成果を得るために)	適正な納税額でもって収入額とする。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	2,068	2,500	2,318	3,565
従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費 ※	千円	700	700	700	700
非常勤職員報酬	千円	0	0	0	0
事業費合計	千円	2,768	3,200	3,018	4,265

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算



# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	19	所属	保険課	所属長	大島孝夫
事業名	2000024	保健衛生普及費		記入日	平成24年11月30日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	安心して暮らせる仕組みづくり			
	中項目	国民健康保険			
	小項目(施策)	国保財政の健全化			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	国民健康保険法				
事業概要	医療費通知送付 被保険者の受診状況を医療費通知として発送する(年6回)				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	国保被保険者
意図 (何を目指しているのか)	医療や健康に対する認識を深め、自己の健康管理や健康づくりを心がけてもらい適正な受診を求める。
手段 (どのようなやり方で)	医療費通知の発送(年6回)
成果 (どのような成果を得るために)	国保被保険者の健康管理の助長 医療費の抑制

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	945	1,178	773	1,178
従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費 ※	千円	700	700	700	700
非常勤職員報酬	千円	0	0	0	0
事業費合計	千円	1,645	1,878	1,473	1,878

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度 実績(平均)	23年度		24年度 (9月末)	
			計画	実績(平均)		
対象指標	指標1	被保険者数	人	10,276	10,074	9,857
	指標2	被保世帯数	世帯	4,689	4,649	4,666
	指標3					
活動指標	指標1	通知回数	回	6	6	3
	指標2					
	指標3					
成果指標	指標1	発送世帯数	世帯	20,925	20,964	10,473
	指標2	レセプト枚数	枚	108,991	113,474	53,099
	指標3					

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況	医療機関受診者数、回数は横ばいで推移している傾向にある。医療機関を受診する前段階の、保健事業(予防事業)の取り組みが重要になってくる。	
これまでの見直しや 改善等の経過	継続的に行っている。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]	
医療費通知を継続することにより、受診者が自己の医療費を把握しコスト意識を高めることや医療機関の不正請求防止にも効果がある。		

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	20	所属	保険課	所属長	大島孝夫
事業名	2000049	前期高齢者納付金		記入日	平成24年11月30日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	安心して暮らせる仕組みづくり			
	中項目	国民健康保険			
	小項目(施策)	国保財政の健全化			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律				
事業概要	前期高齢者(65歳~74歳)にかかる医療費についての保険者間の財政調整が実施されるに当たり、その負担を調整するために納付する。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	社会保険診療報酬支払基金
意図 (何を目指しているのか)	前期高齢者の医療費負担の公平性を図る。
手段 (どのようなやり方で)	社会保険診療報酬支払基金への納付
成果 (どのような成果を得るために)	国保事業の健全な運営

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	671	553	1,304	463
従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費 ※	千円	700	700	700	700
非常勤職員報酬	千円	0	0	0	0
事業費合計	千円	1,371	1,253	2,004	1,163

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算



# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	21	所属	保険課	所属長	大島孝夫
事業名	2000047	後期高齢者支援金		記入日	平成24年11月30日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	安心して暮らせる仕組みづくり			
	中項目	国民健康保険			
	小項目(施策)	国保財政の健全化			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律				
事業概要	後期高齢者医療制度における、現役世代(74歳以下)から本制度の被保険者(75歳以上)への支援として納付する。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	社会保険診療報酬支払基金
意図 (何を目指しているのか)	各医療保険者全体が、それぞれ加入者数に応じて負担し、後期高齢者医療制度を支える。
手段 (どのようなやり方で)	国で定める算定方式に基づき算出し、社会保険診療報酬支払基金へ納付する。
成果 (どのような成果を得るために)	後期高齢者医療支援金は、従前の老人保健拠出金に代わるもので、後期高齢者医療制度の財政を支えている。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	414,013	425,216	454,262	488,325
従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費 ※	千円	700	700	700	700
非常勤職員報酬	千円	0	0	0	0
事業費合計	千円	414,713	425,916	454,962	489,025

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度 実績(平均)	23年度		24年度		
			計画	実績(平均)	計画(10月末)		
対象指標	指標1	後期高齢者被保険者	人	3,021		3,049	3,073
	指標2	後期高齢者支援金	千円	414,013		454,262	244,167
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	後期高齢者被保険者	人	3,021		3,049	3,073
	指標2	後期高齢者支援金	千円	414,013		454,262	244,167
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況	後期高齢者医療制度の医療費の増加により、本事業費が増加する可能性がある。	
これまでの見直しや 改善等の経過	法に基づき行っている。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]  法に基づくものである。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	22	所属	保険課	所属長	大島孝夫
事業名	2000045	一般被保険者高額介護合算療養費		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	安心して暮らせる仕組みづくり			
	中項目	国民健康保険			
	小項目(施策)	国保財政の健全化			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	国民健康保険法57条の3				
事業概要	世帯内の同一の医療保険の加入者の方について、1年間(毎年8月1日～翌年7月31日)に医療保険と介護保険の両方に自己負担があり、その自己負担額の合計がこの制度の自己負担限度額を超えた場合、申請によって、超えた金額を支給する。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	国保被保険者
意図 (何を目指しているのか)	医療費と介護費を合算し、高額になった被保険者の負担軽減
手段 (どのようなやり方で)	世帯毎に合算し、限度額を超えた額を支給する。
成果 (どのような成果を得るために)	家計の負担が軽減される。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	0	1,800	26	1,800
従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費 ※	千円	700	700	700	700
非常勤職員報酬	千円	0	0	0	0
事業費合計	千円	700	2,500	726	2,500

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算



# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	23	所属	保険課	所属長	大島孝夫
事業名	1000126	国民健康保険事業特別会計繰出金事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	安心して暮らせる仕組みづくり			
	中項目	国民健康保険			
	小項目(施策)	国保財政の健全化			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	総務省通知「国民健康保険繰出金について」				
事業概要	境町国民健康保険特別会計への繰出金				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	境町国民健康保険特別会計
意図 (何を目指しているのか)	国民健康保険特別会計の財政的健全化
手段 (どのようなやり方で)	一般会計から国保特別会計に繰出する。
成果 (どのような成果を得るために)	国民健康保険事業の安定的な運営

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	180,738	168,430	168,430	172,000
従事職員数	人	0.1	0.1	0.1	0.1
人件費 ※	千円	700	700	700	700
非常勤職員報酬	千円	0	0	0	0
事業費合計	千円	181,438	169,130	169,130	172,700

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位	22年度 実績(平均)	23年度		24年度		
			計画	実績(平均)	計画		
対象指標	指標1	国保被保険者	人	10,276		10,074	9,857
	指標2	一般会計繰出金	千円	180,738		168,430	172,000
	指標3						
活動指標	指標1						
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	国保被保険者	人	10,276		10,074	9,857
	指標2	一般会計繰出金	千円	180,738		168,430	172,000
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別 評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく 社会環境の状況	景気低迷のおり、所得の減少等により、保険税収納額が減少している。	
これまでの見直しや 改善等の経過	法定外の繰出金を抑えている。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の 方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]  国保財政本来の単年度収支均衡を目的として繰出金を実施していくべきと考えており、今後の療養給付費等の状況にもよるが、財政補填としての法定外の繰出金の額を抑えられるように努める。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	24	所属	保険課	所属長	大島孝夫
事業名	1000124	国民健康保険事務事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	安心して暮らせる仕組みづくり			
	中項目	国民健康保険			
	小項目(施策)	事務処理体制の充実			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	国民健康保険法, 境町国民健康保険条例, 境町国民健康保険規則, 境町高額療養費貸付規則, 境町国民健康保険人間ドック補助要項, 境町国民健康保険短期被保険者証交付要領, 境町国民健康保険税条例, 境町国民健康保険税条例施行規則, 等				
事業概要	国民健康保険加入者を対象に国保税の賦課・徴収業務並びに療養の給付, 療養費, 高額療養費, 出産育児一時金, 葬祭費等の保険給付事業及び特定健康診査, 医療費通知, 人間ドックの補助等の保健事業を行う。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	被用者保険の加入者を除くすべての住民
意図 (何を目指しているのか)	住民の保険医療の確保および向上
手段 (どのようなやり方で)	保険給付事業および保健事業等の実施
成果 (どのような成果を得るために)	国保事業の健全な運営

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	9,974	10,010	9,193	10,099
従事職員数	人	10.4	10.4	10.2	10.2
人件費 ※	千円	72,800	72,800	71,400	71,400
非常勤職員報酬	千円	2,927	2,990	2,943	2,990
事業費合計	千円	85,701	85,800	83,536	84,489

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	国保税調定額	千円	1,158,481	1,140,378	1,158,078	1,132,925
	指標2	特定健康診査対象者		5,929	6,741	5,939	6,775
	指標3						
活動指標	指標1	国保税収納額	千円	1,044,774	1,016,960	1,053,755	1,024,079
	指標2	特定健康診査実施者数		2,589	3,927	2,567	4,404
	指標3						
成果指標	指標1	国保税収納率	%	90.18	89.18	90.99	90.39
	指標2	特定健康診査受診率		43.7	58.3	43.2	65
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況	被保険者数が減少し高齢化が進展するなかで、所得水準が他の保険制度と比べ低く、医療費は増加傾向にある。	
これまでの見直しや改善等の経過	国保制度の改正に伴う事務処理に的確に対応している。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]  保険者において共通した事務処理体制を委託し、国保事業の合理的な事務処理を行う。	

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	25	所属	保険課	所属長	大島孝夫
事業名	1000137	医療福祉扶助事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画における位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	安心して暮らせる仕組みづくり			
	中項目	医療福祉			
	小項目(施策)	医療福祉の充実			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	境町医療福祉費支給に関する条例 境町医療福祉費支給に関する条例施行規則				
事業概要	妊産婦、小児、母子家庭の母子、父子家庭の父子及び重度心身障害者等の医療費(保険対象分)の助成を行う。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	小児(0歳~小学校3年生)・妊産婦・母子家庭の母子・父子家庭の父子については、医療費の一部負担金から外来自己負担(1日600円、月2回まで)・入院自己負担(1日300円、月3000円まで)を控除した額及び重度心身障害者の医療費の一部負担金
意図 (何を目指しているのか)	罹患率の高い医療福祉制度受給者に対し、自己負担医療費を助成することにより、経済的負担を軽減する。
手段 (どのようなやり方で)	県内の医療機関を受診する場合は、被保険者証と医療福祉費受給者証を窓口にて提示し、県外の医療機関で受診した場合は、窓口で支払った領収書を持参し申請する。
成果 (どのような成果を得るために)	公費で助成することによって、受療を容易にし、併せて健康の保持と生活の安定を図る。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	109,696	120,901	118,746	127,000
従事職員数	人	0.8	0.8	0.8	0.8
人件費 ※	千円	5,600	5,600	5,600	5,600
非常勤職員報酬	千円	0	0	0	0
事業費合計	千円	115,296	126,501	124,346	132,600

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分			単位	22年度	23年度		24年度
				実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	対象者数	人	3,177	3,155	3,206	3,175
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	対象件数	件	33,085		38,566	
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	医療費助成額	千円	109,696	120,901	118,746	127,000
	指標2						
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況		少子化対策として医療福祉支給制度を拡充し、妊産婦及び0歳から中学3年生までの保険診療時の一部負担金を町単独事業(境町医療費助成事業)で助成している。
これまでの見直しや改善等の経過		平成22年10月から対象者の範囲が拡大され、小学3年生までの小児となった。
総合評価		<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]	
県の補助事業であり、県の医療福祉制度改正に沿って考えていきたい。		

# 事務事業評価シート

[平成23年度事後評価]

## 1. 事業の概要 (PLAN)

整理番号	26	所属	保険課	所属長	大島孝夫
事業名	1000136	医療福祉事務事業		記入日	平成24年11月30日
総合計画 における 位置づけ	基本目標(章)	健やかでふれあいのあるまちづくり			
	大項目(節)	安心して暮らせる仕組みづくり			
	中項目	医療福祉			
	小項目(施策)	医療福祉の充実			
区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> その他				
根拠法令等	境町医療福祉費支給に関する条例及び施行規則 境町医療費助成に関する条例及び施行規則				
事業概要	妊産婦、小児、母子家庭の母子、父子家庭の父子及び重度心身障害者等の医療費(保険対象分)の県補助事業及び町医療費助成事業に係る事務を行っている。				

## 2. 事務事業の目的 (DO)

対象 (誰を何を対象として)	妊産婦、小児、母子家庭の母子、父子家庭の父子、及び重度心身障害者医療費助成の事務
意図 (何を目指しているのか)	適切に処理される。
手段 (どのようなやり方で)	申請受付、受給者証の交付、助成額の支払、システムによる対象者の管理
成果 (どのような成果を得るために)	生活の安定が図られる。

## 3. 経費 (DO)

	単位	22年度	23年度		24年度
		実績	計画	実績	計画
直接経費	千円	7,502	7,727	8,168	8,238
従事職員数	人	0.8	0.8	0.8	0.8
人件費 ※	千円	5,600	5,600	5,600	5,600
非常勤職員報酬	千円	0	0	0	0
事業費合計	千円	13,102	13,327	13,768	13,838

※1人当たり平均人件費7,000千円で積算

4. 指標・実績(CHECK)

区分	単位		22年度	23年度		24年度	
			実績	計画	実績	計画	
対象指標	指標1	対象者数	人	4,603	4,630	4,677	4,646
	指標2						
	指標3						
活動指標	指標1	対象件数	件	34,403		48,612	
	指標2						
	指標3						
成果指標	指標1	事務費	千円	7,502	7,727	8,168	8,238
	指標2						
	指標3						

5. 評価(CHECK)

項目別評価	必要性	(時代適応性、公共性、廃止の影響等を鑑みて事業が必要であるか。) <input checked="" type="radio"/> 必要である <input type="radio"/> ほぼ必要である <input type="radio"/> あまり必要でない <input type="radio"/> 必要でない
	妥当性	(実施主体の妥当性を評価し、目的達成のための実施手法が妥当であるか。) <input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> ほぼ妥当である <input type="radio"/> あまり妥当でない <input type="radio"/> 妥当でない
	効率性	(どれだけ経費を掛けて、どれだけ事業が実施できたか。) <input checked="" type="radio"/> 効率的である <input type="radio"/> ほぼ効率的である <input type="radio"/> やや効率性が低い <input type="radio"/> 効率性が低い
	有効性	(事業の実施により目的がどれだけ達成されているか。) <input checked="" type="radio"/> 達成されている <input type="radio"/> ほぼ達成されている <input type="radio"/> あまり達成されていない <input type="radio"/> 達成されていない
事業を取りまく社会環境の状況	少子化対策として医療福祉支給制度を拡充し、妊産婦及び0歳から中学3年生までの保険診療時の一部負担金を町単独事業(境町医療費助成事業)で助成している。	
これまでの見直しや改善等の経過	平成22年10月から医療福祉制度小児の年齢拡大に伴い、町単独事業の対象者を中学3年生まで拡大した。	
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 計画どおり事業を進めることが適当 <input type="radio"/> 事業の進め方に改善が必要 <input type="radio"/> 事業規模や内容の見直しが必要 <input type="radio"/> 事業の抜本的見直しや廃止が必要	

6. 今後の方向性(ACTION)

今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 現状のまま継続 <input type="radio"/> 見直しの上で継続 → <input type="radio"/> 終期の設定 <input type="radio"/> 終了 → (平成23年度に終了予定) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡充又は重点化 <input type="checkbox"/> 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化・縮小 <input type="checkbox"/> 統合化 <input type="checkbox"/> その他
	[今後の方向性についての具体的な考え方等]	
県の医療福祉制度改正に沿って、適正な事務処理を行う。		